

【追究を促す問い】をつないで単元指導計画を作成しましょう！（A3サイズに拡大）

問いは付箋に書くと、貼り替えたり、並び替えたりしやすくなります。
まずは思いついた問いをどんどん付箋に書き出し、その中から選び出していきます。

- ①まず【単元を貫く問い】を決めましょう。生徒から自然と問いが出てきたり、問いを作成させたりした上で、問いを決定できればよいですが、事前に柱になる問いは教師側で考えておきましょう。
- ②「学習指導要領解説」を参考にして、毎時間の【深める問い】を付箋に書いて貼りましょう。
- ③導入部分で生徒に考えさせたい、または考えてこさせたい【つながる問い】を付箋に書いて貼りましょう。
- ④問い同士のつながりを➡、再度【単元を貫く問い】を意識させる場面を⇨で、書きましょう。

単元名：

単元のゴール： （目指す答え）			
単元を貫く問い	本時の中心発問【深める問い】 （本時で最も考えさせたい問い）	導入部の【つながる問い】 （既習事項や生活経験を生かす）	既習事項や、他教科、総合的な学習の時間との関連

<問いをチェックしてみましょう>

- ☐ 【つながる問い】は生徒が興味や疑問をもてるもの（あまりに簡単すぎないこと）、既習事項を生かして考えられるものになっていますか？
- ☐ 【つながる問い】→【深める問い】→【つながる問い】へとつながっていくように関連付けられていますか？

単元名: (第2学年 歴史的分野) 産業の発達と幕府政治の動き

単元のゴール: 江戸時代は交通網や産業が発達し、都市だけではなく農村にまで貨幣経済が浸透した。だが、幕府は年貢収入のため (目指す答え) 財政が行き詰まった。様々な改革を行ったが、貨幣経済や外国の接近など社会の変化に対応する対策ができなかった。

単元を貫く問い	本時の中心発問【深める問い】 (本時で最も考えさせたい問い)	導入部の【つながる問い】 (既習事項や生活経験を生かす)	既習事項や、他教科、総合的な学習の時間との関連
<p>なぜ、江戸幕府の政治は行き詰まったのか。</p> <p>①</p> <p>⑨</p>	①ペリー来航が江戸幕府の滅亡の原因なのか。ペリーが来なかったら続いていたか。	①広島県以外に住むとしたら、どこの都道府県に住みたいか。そこを選んだ理由は。	<地理> ・日本の人口
	②農具の改良や特産物の生産が広がって、農村や都市にどのような変化が生まれたか。	②江戸時代は一気に人口が増えたが、最も多かったのが百姓である。百姓AとBは同じ広さの土地をもっているがBの方がお金持ちである。収入を増やす土地活用方法は？	<地理> ・日本の農林水産業 <国語>第2学年 ・鯉節―世界に誇る伝統食―
	③航路や街道が整備されたことで、どのようなことができるようになったのか。 戦がなくなり安定したはずなのに…	③特産物の生産が広がったならば、江戸時代に広島の特産物、牡蠣を大阪に輸送する方法は？その方法にした理由は？	<地理> ・日本各地を結ぶ交通
	④松尾芭蕉が俳句指導で旅費を得られるくらい、俳句が東北にまで広がった元禄時代とはどのような時代だったのか。 豊かな時代になったはずなのに…	④交通網の整備で、人や物の行き来が盛んになったならば、街道を通して旅をした松尾芭蕉は、どうやって旅費を得ていたのか？	<国語>第3学年 ・奥の細道
	⑤貨幣経済が広まったことが、社会(幕府や藩、百姓)にどんな影響を与えたのか。	⑤豊かになった元禄時代だが、百姓はどうやって機織り機を手に入れたのだろうか？	<歴史> ・本単元②
	⑥3人の行った政策を知り、他の人が選んだ理由も聞いた上で、最も評価できる人一人に投票しよう。なぜその人を選んだのか。	⑥貨幣経済が広まり幕府の財政が厳しくなった。改革を行った3人の人物の中で最も評価できる人を選び、理由を説明しよう。	<公民> ・政治参加と選挙
	⑦葛屋重三郎のような浮世絵師プロデューサーとして、どのような題材の絵が売れるか、なぜその題材が売れるか、歌川広重に提案しよう。	⑦寛政の改革で処罰された葛屋重三郎は浮世絵師を見出した。鎖国中でも浮世絵はヨーロッパに伝わったが、どうやって持ち出され、1枚、いくらくらいだったか。	<美術> ・浮世絵から学ぶ江戸の職人技
	⑧大塩が反乱を起こすくらい、幕府の政治が行き詰まっていた。国内外にどのような課題を抱えていたか。それに対する幕府の対応策はうまくいくか、なぜそう思ったか。 うまくいかなかったのならば…	⑧(大塩平八郎の絵を見せ) この人物について140字以内でツイートしてみよう。	<歴史>小学校第6学年 ・江戸幕府の政治の衰え